

## □ 発表形式

- 発表はPCプレゼンテーションのみです。
- 事務局にて会場に用意するPCのOSはWindows XPとなります。  
アプリケーションはPowerPoint 2003, 2007となります。他のWindowsのバージョンやMacで作成された場合は、必ず上記環境で、動作確認済のデータをお持ちください。

## □ データを持ち込まれる方へ

- 事務局にて用意のPCを使用ください。
- 事務局にて用意するコンピュータは、Windows XPとなります。プレゼンテーションソフトは、PowerPoint2003, 2007です。解像度は1024×768です。
- USBフラッシュメモリまたはCD-Rにデータ (Windows XP PowerPoint 2003, 2007) を保存のうえ、「PCセンター」のPCに発表データをコピーし、ご自身にて動作確認を行ってください。(ご不明な点がありましたら、専任スタッフが対応いたします)
- また、バックアップとして、必ず予備データをお持ちください。
- また、PowerPointのデータ作成においては、Windows標準のフォント (MSゴシック・MS明朝 等) をご使用ください。(それ以外では、正しく表示されない場合があります)
- アニメーション・動画の制限はありませんが、PowerPointに貼り付けている動画・音声は、Windows Media Playerで再生できるように作成してください。PowerPointのファイルと動画のファイルは必ず同じフォルダにお入れください。また、バックアップ用としてご自身のノートパソコンもご持参いただくことをお勧めいたします。
- ファイル名は、「(研究会名) 演題番号\_演者名\_win2003.ppt」としてください。  
(例：(日本小児外科代謝) A1\_山田太郎\_win2003.ppt)  
(win2003) はWindows PowerPoint2003で作成の意味です。
- お持込データによるウィルス感染の事例がありますので、最新のウィルス駆除ソフトでチェックを行ってください。
- 持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ以外入れないようにしてください。
- 学術集会前に必ず、他のコンピュータにて動作確認をお願いいたします。

## □ パソコンを持ち込まれる方へ

- 発表データがMacintoshの場合はPC本体をお持ち込みください。
- PCセンターで映像出力等の動作を確認してください。  
発表用のデータはプログラムに掲載されているファイル名を、  
「(研究会名) 演題番号\_演者\_win2003.ppt」とし、デスクトップに置いてください。  
(例：(日本小児外科代謝) A1\_山田太郎\_win2003.ppt)
- 画面の設定は1024×768とし、スリープ、スクリーンセーバーは予め解除してください。
- 起動の際にパスワード設定されている場合は、必ず解除して下さい。
- PC付属のACアダプターを必ずお持ちください。
- 外部モニタ接続用のコネクタはD-sub 15pinとなります。
- 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はD-sub15ピンです。一部の薄型ノートパソコンで、モニタ出力端子がD-sub15ピンでないものがあります。この端子がないものは本体のみではプロジェクターにつなぐことができません。別売りのアダプターが必要となりますので必ずご用意ください。
- バッテリーによる発表はできませんので必ず電源ケーブルのご用意をお願いします。
- 万一のトラブルの為に、バックアップのご用意をお願いいたします。
- お預かりしたPCは、口演終了後には会場のオペレータ席にて返却いたします。

## □ 発表についての注意とお願い

- 演者は発表45分前までに必ずPCセンターへお越しのうえ、受付を済ませてください。
- 発表時は、舞台上に設置されているワイヤレスマウスにて、演者ご自身で操作していただきます。
- データお持込による演者の方はPCセンターにて受付の際データを複写しメディアをご返却いたしますが、バックアップ用としてお持ちください。複写した発表データは、発表終了後消去いたします。

## □ 座長の方へ

- 座長の方は、ご担当セッション開始予定時刻の10分前までに「次座長席」にご着席ください。
- ご担当いただくセッション全体の時間配分については、時間厳守をお願いいたします。プログラムの円滑な進行をお願いいたします。